

子どもと保護者と教職員とともに考える！



人権フォーラム新聞



令和5年10月11日発行第7号

サグ

9月14日に鳴門教育大学大学院教授の葛西真記子先生、SAG徳島のメンバーである当事者の方を講師としてお招きして、『性の多様性について』という演題で講演をしていただきました。SAG (All Sexuality and All Gender in Tokushima) 徳島とは、葛西真記子先生が代表を務め、セクシュアルマイノリティの方々への情報・心理援助の提供や、社会に向けて様々な情報や知識を発信し、セクシュアルマイノリティの当事者やその関係者の方々への個人・グループカウンセリング等の活動を行っている団体です。講演会では、葛西先生から性の多様性や日本を含めた各国の現状についての話を聞いたり、当事者の方から実体験を聞かせていただいたりしました。今回は、全校生徒が学習後に書いた感想を各家庭に持ち帰り、それを読まれた保護者の皆さまの感想を掲載します。ご家庭でもお子様と人権について考える機会にしていだけたらと思います。

保護者の皆さまの感想より



1年

- ★性の多様性について知り、考える事ができて良かった。性自認の時期に悩む事が少ないよう、人と比べず自由に自分らしく生きて欲しい。男女の枠が無くなるよう学校も社会も変わってきているので良い機会だった。
- ★実際に徳島県で活動している団体の方のお話が聞け、子どもも身近なこととして学べたのではと思います。今の中学生は保護者よりも、性の多様性について柔軟な考えをもっていると日頃から感じます。子ども達が今の時代の中で培っている感覚や考え方を大切にできるよう、保護者も考え方や感覚をアップデートしていかなくてはと感じました。
- ★相手の気持ちを理解してあげられる子どもになって欲しいと思いました。苦しんでいる人がいたら寄り添える人に育って欲しいです。
- ★家庭で話す事がないので講演会で聞く事ができて良い機会になったと思います。自分が出来る事をしながら全ての人が生きやすい世界になるようにしていけたらと思いました。

2年

- ★LGBTQ+なんですね。今は、自分が聞いた時からどんどん増えてきているんだなあと思いました。「誰もが自分らしく生きられる世界になればいいなと思います。」という意見に同感です。
- ★家ではLGBTや同性愛について話をする機会はなかったのですが、学校の授業で学ぶ事ができて、子どもの考え方を知る事ができました。これから先、いろんな人と接する事が増える中、LGBTの方と出会う事もあると思います。感想でもあった様に、認め合ってステキな大人になってほしいです。
- ★今回は、子ども達に大変貴重なお話を聞く機会を与えていただきありがとうございました。もし、我が子もそうだったとしたら、子どもが書いた感想のように受け止めることができるだろうか？と考えさせられました。今の子ども達は、きっと1人の人間として何も変わらず、当たり前のように受け止める準備はできており、「性の多様性」について理解して変わっていかなければならないのは、私達大人であると改めて思いました。
- ★貴重なお話ありがとうございました。



- ★昔は男か女と決めつけていて性に対して興味を持っていませんでした。今は時代も進み私が教えてあげられないこともあり、とても良い講演会だったんだなと感想を読んで思いました。子ども達には異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある、自分と違うからと言って差別的なところがあるのを知り、認め合う関係を作れるようになってほしいです。
- ★性の多様性の他にも、個性を尊重するというのが近年の風潮であり、それは自分と違うものを受けられるという事だと思います。私の時代には、限定的な差別についての表面的な教育しかなく、今の教育は昔よりずっと広く、深く、色々なアプローチからなっており、時代の変化を感じています。幸い子ども達の間には、虐め等の気配はなく、毎日楽しく学校生活を送っているようです。多様性尊重についての教育のおかげだと思います。今後も更に相互理解を深め、個性を尊重し合える様、子ども達の健全な成長を願います。
- ★トイレの問題は難しいですよね。自分も女子トイレに心は女性の男性がいたらビックリします。特に見た目が男性だったら。もっと多目的トイレを増やしていただければと思います。あと、LGBTはわかりますが Q+ ってなに？少し調べてみましたが、人間誰しもLGBTQの可能性はあるのでは？同性でも異性でもその人が魅力的であれば好きになるし、少しも変ではないと思います。自分の気持ちを押し殺して生きるのは辛いですよね。でも、なかなか偏見ってなくならない。これから子ども達が人権学習を通じて皆が自由に生き生きと暮らしていける世の中を作っていくことを願ってます。
- ★子どもの感想を読んで、まず、LGBTQ+を理解しておらず、子どもに聞き、知る事ができました。家庭の中で、LGBTQ+について、会話をした事もないですが、学校で学べ、理解していく事ができることは子どもにとって貴重な事だと思います。これから、家庭でも話をする機会ができればと思います。

3年

- ★多くの多様性について学ぶ機会が増えて良い時代になった反面、それぞれの人権を理解して一人一人と関わりをもっていくのは複雑でとてもデリケートだと思います。たくさん学んでたくさんの方との関わりを続けてほしいと思います。
- ★日本ではまだ理解が進んでいない事、性の多様性で悩んでいる人が多くいるということが知れてよかったと思いました。子どもたち世代が理解を進めて一人一人の個性として生きていける世の中になればいいなと思います。
- ★性について子どもがよく理解し考えているように思いました。
- ★子どもの感想を読んで、〇〇君、〇〇ちゃんと呼ぶこと、恋愛対象が異性であると決めつけていることなど、知らず知らず誰かを傷つけているのかもしれないと思いました。
- ★授業や講演などで、「性の多様性について」をしっかりと勉強しているんだなと思いました。これからの社会に、日本で考えなくてはいけない事だと思います。
- ★世の中にはいろんな人がいていろんな考え方や思考があるので自分のことばかりだけでなく他人を思いやる気持ちを大切にしてほしいと思います

◎セクシュアルマイノリティ (Sexual Minority) とは？

性のあり方に関する考え方で、全体の割合でいえば少数の人たちを総称して呼ぶ名称。性的少数者ともいわれている。

◎LGBTQ+とは？

レズビアン(Lesbian)・ゲイ(Gay)・バイセクシュアル(Bisexual)・トランスジェンダー(Transgender)・クイアー(Queer)もしくはクエスチョニング(Questioning)、そのほかすべての性的少数者(+)の総称。「LGBT」は4つ同列に並べられ表現されることが多いが、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアルは「性的指向(恋愛感情や性的関心が、どの性別を対象にしているか)」を表すのに対して、トランスジェンダーは「性自認(自分自身の性をどう認識しているか)」を表すのに使われる。 【参考文献：「マンガでわかるLGBTQ+」】

